

製品名: R-カドヘリンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16975**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CDH4
別名	CDH4; Cadherin-4; Retinal cadherin; R-CAD; R-cadherin
遺伝子 ID	1002.0
SwissProt ID	P55283
免疫原	抗血清はヒト CDH4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 731-780

背景

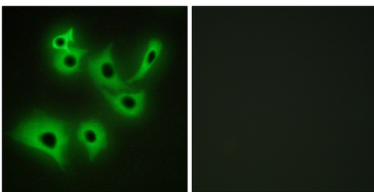
この遺伝子は、カドヘリンスーパーファミリーに属する古典的なカドヘリンです。コードされているタンパク質は、5つの細胞外カドヘリンリピート、膜貫通領域、そして高度に保存された細胞質末端からなるカルシウム依存性細胞間接着糖タンパク質です。ニワト

リとマウスを用いた研究に基づき、このカドヘリンは脳の分節化と神経細胞の伸展において重要な役割を果たすと考えられています。さらに、腎臓と筋肉の発達における役割も示唆されています。特に興味深いのは、共導入細胞株においてカドヘリン 2 と 4 の安定したシスヘテロ二量体を示した研究です。これまでは完全に同種親和性で相互作用すると考えられていましたが、これはカドヘリンのヘテロ二量体形成の初めての証拠です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011 年 11 月],function:Cadherins are calcium dependent cell adhesion protein.,function:Cadherins are calcium dependent cell adhesion protein.カドヘリンは細胞同士を繋ぐ際に、互いに同種親和的に相互作用する傾向があるため、異種細胞の選別に貢献している可能性がある。網膜の発達において重要な役割を果たす可能性がある。類似性: 5 つのカドヘリンドメインを含む。組織特異性: 主に脳で発現するが、他の組織でも認められる。、

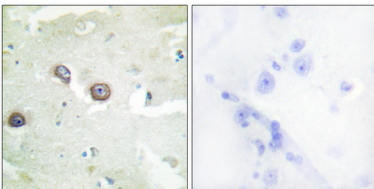
研究分野

細胞接着分子 (CAM)

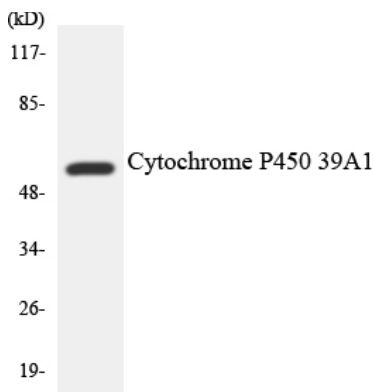
画像データ



CDH4 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CDH4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



シトクロム P450 2D6 抗体を使用した COLO205 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。